

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 山仕事	(ふりがな) やましごと	
地域独特の呼び方	—		
タイトル	植 林		
伝承地域	古殿町一円		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 植林は古くから行われてきたが、特に、昭和30年代まではスギが高値で取引されたため、盛んに行われた。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 建築材として一般的なのは杉である。杉は割裂性があるため、丸太は柾目であっても板目であっても、広葉樹に比べ割りやすいことが要因でもある。雑木の生えない場所や、炭木をとるため伐採された雑木山にスギ、ヒノキなどが植林された。植林後10年位であまり手がかからなくなるため、よく植林された。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	古殿町教育委員会	電話0257-53-3111	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)			※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女	歳	
	住所・電話	〒	電話	
	職 業			
団体	団体名 (ふりがな)			
	代表者氏名 (ふりがな)			
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先	電話		

【フリーフォーマット】

キーワード

戦後の復興のため、わが国では木材の需要が急増した。このため政府は、広葉樹からなる天然林を伐採した跡地などに、比較的成長が早く、経済的価値の高いスギやヒノキなどの植林（人工林）を奨励した。しかし、木材の自由化により昭和40年代から安価な外国産の木材需要が増え、国産材の需要は減少の一途をたどった。このため、国産材の値段は下がり、採算性の悪化から間伐などの手入れが行き届かない森林が増えてきている。現在は、間伐などの作業を森林組合等に委託している林家が多い。



(古殿町教育委員会)

<植林された山（古殿町）>



(古殿町教育委員会)